



算数・数学部会

目指す児童・生徒像

- 算数・数学の基礎・基本が確実に定着している。
- 算数・数学的思考力・表現力を身に付けている。

取組

- 間違えた問題をやり直すことを徹底しました。
- いろいろな方法で問題を解くような場を設定し、自分で考える時間を多く取りました。



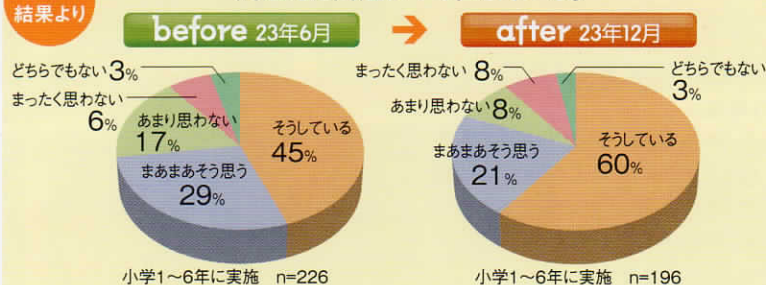
場合の数(和泉小6年)

成果

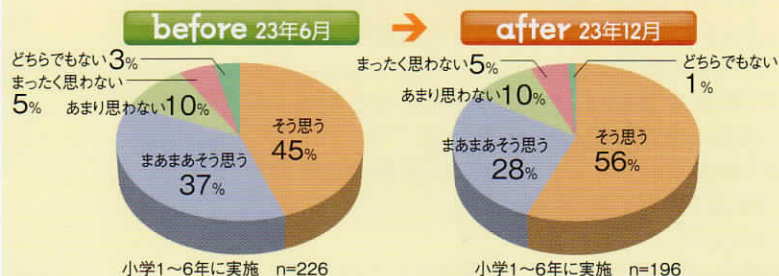
- 間違えた問題をやり直すことで、わかったという声が増え、基礎・基本が定着してきました。
- 自分で説明をしたり他の生徒の説明を聞いたりすることでさらに理解が深まりました。

アンケート
結果より

間違えた問題はやり直している。



問題を解くときは、いろいろな方法で考えるようにしている。



課題

- わかったという達成感をさらに味わわせること。わかった!からできる!へ。



理科部会

目指す児童・生徒像

- 自然現象に知的好奇心や探究心をもって親しむことができる。
- 目的意識をもって観察や実験を行うことができる。
- 科学的なものの見方や考え方を実生活に活用することができる。

取組

- 実験を主体とした授業を実施しました。
- 理科に対する児童・生徒実態調査を行いました。
- 小中をリンクした単元構成を意識して指導計画を作成しました。
- 夏休み実験教室を実施しました。

葉脈を歯ブラシで
落とすことが
楽しかった。

いつもと違う
葉になったことが
面白かった



葉の水をきることを
がんばった。

葉脈標本作り

ゲルマニウム
ラジオ作り



電気を使わないのに、
声や音楽が聴こえたことが
不思議だった。

ハンダを使って
ラジオ作りをしたことが
楽しかった。

チューニングをして
やっと音が聴こえて
うれしかった。

成果

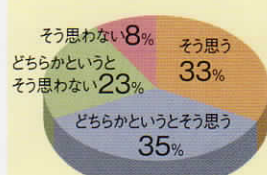
- 指導計画作りを通して、小中の連続性を意識して学習内容の単元構成を把握することができました。
- 理科に対する児童・生徒の意識調査の結果を受けて、観察・実験を主体とした授業改善ができました。

アンケート
結果より

理科についてのアンケート

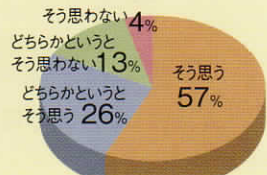
after 23年10月

もっと知りたい



小学3年～中学3年に実施 n=491

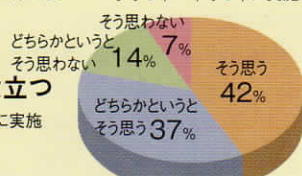
実験観察が好き



小学3年～中学3年に実施 n=456

日常生活に役立つ

小学3年～中学3年に実施
n=460



課題

- 小中一貫を意識した一連の学習の流れ《課題設定、予想・仮説の立案、実験・観察による検証、考察》の習慣化を一層図ること。



音楽部会

目指す児童・生徒像

- 様々な音楽に興味・関心を持ち、豊かに表現できる。
- 音楽の基礎・基本を身に付け、それを活用できる。

取組

<1学期>

- 小中の児童・生徒の実態を把握し、TTを進めることで、学習内容の定着につながりました。
- 新泉小と和泉中の合唱団の交流ができました。



小中音楽科教員のTTの授業

<2学期>

- 新泉小と和泉中、和泉小と和泉中でTTの授業交流をしました。
- 「さざんかフェスタ」で新泉小と和泉小の合唱団が合同で発表を行いました。
- 「和泉中合唱コンクール」で新泉小と和泉小の音楽科教員も審査に加わりました。
- 「杉並合唱フェスティバル」に新泉小と和泉中合同合唱団で参加しました。

<3学期>

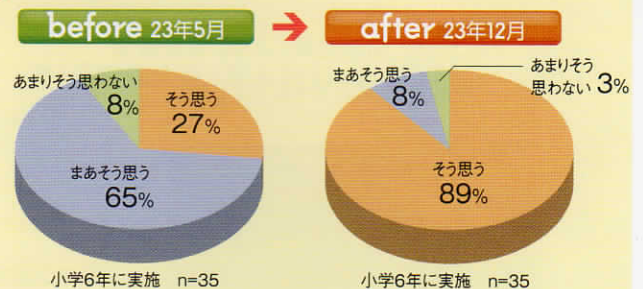
- 新泉小と和泉中、和泉小と和泉中でTTの授業交流をしました。
- 東京都小学校合唱祭、新泉小参加。和泉中音楽科教員がピアノ伴奏で参加しました。

成果

- 昨年度より行っている新泉小、和泉中TTの授業を今年度は和泉小、和泉中でも行いました。
- 6年生の音楽科指導に中学校音楽科教員が加わることで、中学校の学びにつながる指導を行うことができました。特に変声期男子の指導では、中学校音楽科が指導に加わることでパートの分け方などがスムーズに行え、生徒も「声が出しやすい」「どんな風に歌えばいいかわかりやすい」などの感想を聞くことができました。
- 小中合唱団での発表の機会をもつことで、合同練習等、一生懸命無心に歌う小学生の姿、部活動として様々なトレーニングを行い声や表現力を鍛えている中学生、と互いに学ぶことがあり、影響を受け合う実りある交流となりました。

アンケート結果より

音楽の授業に意欲的に取り組んでいますか？
(年間を通して小中の音楽科教員でTTの授業を行いました。)



課題

- 読譜力等、音楽の基礎の学びを小→中の流れをもって指導していくには、まだまだ研究が必要である。継続して取り組んでいきたい。



図画工作・美術・技術・家庭科部会

目指す児童・生徒像

- 主体的に課題に取り組むことができる。
- 色や形の良さを実感し、それらを活用することができる。
- 造形活動の中で、自分の考えや思いを表現できる。

取組

- 図画工作・美術科で定期的な交流を実施しました。
- 和泉中学校交流期間で授業体験を実施しました。
- 中学校技術科教員が小学校へ行き、授業の支援を行いました。

中学校授業体験(美術)



中学校授業体験(技術)

成果

- 図画工作・美術科授業の定期的な交流を継続的ななかかわりの中から、児童・生徒の変容や成長が感じられ、情報を共有できるようになりました。
- 美術科・技術科授業の体験を通して、中学校の指導を体験することができました。
- 和泉小学校家庭科クラブが和泉中学校へ行き、交流活動ができました。
- 授業アンケートより、全体的には意欲的に課題(作品等)に取り組むことができました。

アンケート結果より

進んで自分の作品づくりをしようとしていますか？



課題

- 図画工作科でパソコンを利用した授業での技術支援、他の教科での情報活用の授業での日程の連絡・相談など、情報交換を密にしていくこと。
- 授業アンケートより、目指す生徒児童像で掲げている「造形活動の中で、自分の考えや思いを表現できる」という項目で、自分の表現に自信をもてていないことがわかった。また、友達作品に対しても、鑑賞活動をさらに改善・充実させる必要がある。他者理解へとつながっていくことが課題である。
- 取り組みの中で、不十分な点もあるので、より個別指導や理解力の向上に努めていく。「材料や道具を自分の思いに合わせて使うことができましたか。」や「作品を通して、自分の思いや考えを生かすことができたか」「友だちの作品を見て、良い点や工夫している点を見付けることができましたか。」という項目では、消極的な回答の割合が他に比べると高い。



体育部会

目指す児童・生徒像

- 進んで運動に取り組む。
- 自分の課題に応じためあてをもって運動を選び取り組むことができる。
- 生涯にわたり健康の保持・増進を目指し運動を豊かに実践する。

取組

- 新泉小、和泉小、和泉中の年間指導計画をもちより、内容を確認し、小小・小中がお互いにどのような授業を展開しているのかを共通理解しました。
- 中学校の体育科教員を講師に、器械運動の実技研修会を行い、技のポイントや安全面での注意点、指導方法を学びました。
- 新泉小5年の陸上運動・ハードル走の指導に、中学校の体育科教員をTTに迎え、より専門的な指導を行いました。

実技研修会



中学校では体育専門の先生がいるのでいいなと思いました。どう風に進んだらいいのかわかることができました。



中学校体育科教員による指導

ハードルを越す時に少し前から跳ぶことでタイムを短くすることができるとわかりました。

成果

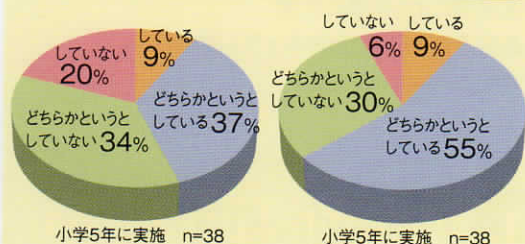
- TTによる指導後、工夫しながら練習に取り組むことができるようになったことがわかりました。中学校体育科教員とのTTにより、目指す児童像「課題に応じてめあてをもつ」「進んで運動に取り組む」という姿に近づくことができました。

アンケート結果より

上手に跳べるようになるために練習のしかたを工夫していますか？

before 23年11月

after 23年12月



課題

- 今後、小学校から中学校までの9年間で、どんな運動内容を取り上げて指導計画を組んでいくのかを考えていく必要がある。3校の年間指導計画を見直した上で、3校で足並みをそろえて9年間のつながりの中で体育学習を考えていくことが今後の課題である。

A_BC

英語部会

目指す児童・生徒像

- 英語を通じて我が国や、外国の言語や文化を理解することができる。
- コミュニケーションを目的として、英語を運用することができる基礎力をもつ。

取組

- 中学校英語科教員が、新泉小の5・6年生の英語活動でJETとしてチームティーチングで授業を行いました。
- 小学校英語活動を活かしてAll Englishの授業を中学1年で実施しました。
- 小中交流授業として、中学2年生が小学3年生に英語の絵本の読み聞かせをしました。



小中交流授業(小3・中2)

成果

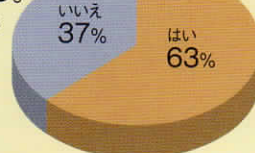
- 小学校6年間の英語活動が中学1年の1学期の時点で、聞く・話すことに対して自信となっています。
- 小学校から中学校への9年間のカリキュラムの見通しをもつことができました。

アンケート結果より

after 23年7月

英語を話すことは、わりとできる。

中学1年に実施 n=42



英語を聞くことは、わりとできる。

中学1年に実施 n=42



英語を読むことは、わりとできる。

中学1年に実施 n=42



小学校で学んだ英語は、役に立っていると思う。

中学1年に実施 n=42



課題

- 全教員が9年間の見通しをもって、授業づくりを行えるようにお互いの授業を見合ったり、小中の授業交流の機会を作っていく必要がある。
- 小学校で英語に慣れ親しんだ生徒たちが中学校に入学し、英語を話したり聞いたりすることだけでなく、英語を読んだり書いたりすることに意欲をもって取り組めるように授業を工夫する必要がある。

新泉・和泉地区小中一貫教育

杉並区立新泉小学校 校長
鶴巻 景子

杉並区立和泉小学校 校長
相馬 季子

杉並区立和泉中学校 校長
由井 良昌

新泉・和泉地区の小中一貫教育がスタートしてから、7年が経ちました。第Ⅰステージ(始動期)、第Ⅱステージ(充実期)と着実に研究・実践を積み重ね、現在は第Ⅲステージ(発展期)を迎えています。計画的・長期的・組織的な対応により、小学校と中学校が分かり合う段階から生かし合う段階へと進んでいます。

今年度は

- ①児童・生徒及び教員の交流の充実
 - ②研究授業による指導の交流
 - ③各教科及びその他のカリキュラム開発
- を研究の3本柱にしました。

また、8教科部会と3教科外部会で、それぞれ目指す児童・生徒像を明確にして、どんな手だてや取り組みを行うか話し合い、取り組みのビフォーアフターを意識して、研究を進めました。また、結果や成果をできる限りデータで示そうと、各教科部会で意識調査にも取り組みました。

研究を進めていく中で、今年度は教員同士だけでなく、生徒と児童、児童同士が学校の垣根を越えて互いによく知り合い、仲間としての意識が育めてきたと手応えを感じています。

平成27年度に施設一体型小中一貫教育校が開校します。開校に向けて、これからも3つの学校が連携・協力し、質の高い教育を行う「地域の学校」を目指します。

第4回 新泉小・和泉小・和泉中保護者への意識調査結果

保護者の皆様に向けて、今年度も6月の意識調査に引き続き12月に意識調査を行いました。12月の調査では、過去最高の269家庭から、ご回答をいただきました。また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

第4回アンケート 23年12月実施

① 新泉・和泉地区の小中一貫教育の意義や内容について理解している。

全体の肯定率が75%から80%に増えました。小中一貫教育は、小学校・中学校間に存在する指導観や学力観などの違いを取り除き、小学校と中学校が協力や連携をすることで、9年間の一貫した質の高い授業、質の高い教育を目指しています。

④ 小中一貫教育の情報は、学校公開や印刷物、ホームページを通して、ご家庭に届いている。

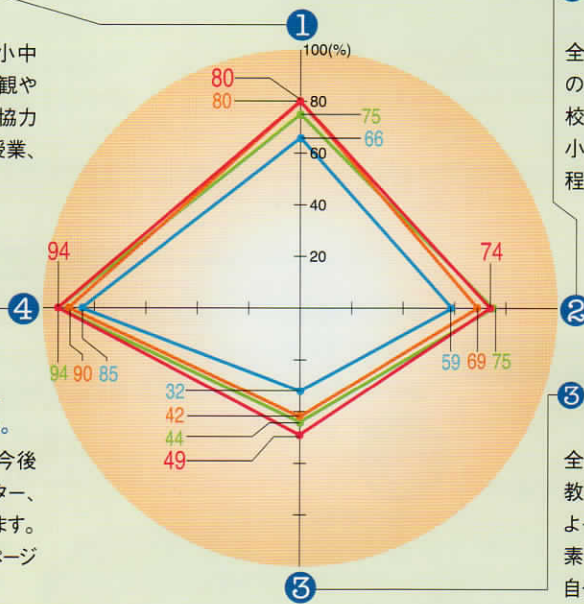
全体の肯定率が94%から94%と横ばいでした。今後も各校の学校だよりやホームページ、ニュースレター、3校共通のホームページ等で情報をお伝えしていきます。また、設置協議会の情報は、教育委員会のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

② 施設一体型小中一貫教育校に期待をもっている。

全体の肯定率が75%から74%と横ばいでした。現在の和泉中学校の校庭に新校舎を建築し、既存の中学校も大幅な改修を行います。また、特別支援学級は小学部と中学部が設置されます。校庭は、約3,000㎡程度芝生化する計画です。

③ 小中一貫教育のよさ(学力向上・豊かな人間性・進路保障)が実感できている。

全体の肯定率が44%から49%に増えました。小中一貫教育の最大のメリットは、小中の教員が学び合いによって、質の高い授業を提供し、子供たちが学びの素地をつくることです。学びの素地は、自分の夢を実現するための力となります。



— 2010年 6月 n=194人 — 2010年12月 n=120人 — 2011年 6月 n=258人 — 2011年12月 n=269人

■4段階評価 4:そう思う 3:ややそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない ※評価できない、わからないときは「わからない」を選択

お知らせ

■小中一貫教育報告会の開催について

日時: 2月8日(水)午後2時から3時45分
会場: 和泉中学校視聴覚室

内容: 研究の報告

講演会 講師: 菅谷 正美 先生
東京純心女子大学教授



新泉・和泉
小中一貫教育

杉並区立 和泉中学校

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-14
tel.03-3322-7671 fax.03-3322-3574
url.http://www.suginami-school.ed.jp/izumichu/

杉並区立 新泉小学校

〒168-0063 東京都杉並区和泉1-44-26
tel.03-3322-4251 fax.03-3322-2761
url.http://www.suginami-school.ed.jp/shinsenshou/

杉並区立 和泉小学校

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-21
tel.03-3322-4254 fax.03-3322-8336
url.http://izel.sakura.ne.jp/izumi/

小中一貫教育ニュースホームページ

http://www.suginami-school.ed.jp/shinsen-izumi/